

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この規定は、広島国際大学健康科学部の授業科目の履修方法等について定める。

2 広島国際大学健康科学部医療福祉学科介護福祉学専攻の履修については、この規定に定めるほか、広島国際大学介護福祉士養成施設に関する規定の定めるところによる。

(授業科目の分類、配当年次・学期および時間数)

第2条 授業科目の分類は、卒業要件との関連で必修科目および選択科目(選択必修科目を含む)とする。また、卒業要件として認めない科目を自由科目とする。

2 開設する授業科目の分類、配当年次・学期および時間数は、別表第1および別表第3のとおりとする。

3 前項の授業科目は、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることがある。なお、該当科目については、学部長が別に定める。

(学科、専攻および定員)

第3条 本学部の学科、専攻および定員は、つぎのとおりとする。

| 学科 | 専攻 | 定員 |
|--------|---------|------|
| 心理学科 | — | 100名 |
| 医療栄養学科 | — | 60名 |
| 医療経営学科 | — | 90名 |
| 医療福祉学科 | 医療福祉学専攻 | 50名 |
| | 介護福祉学専攻 | 20名 |
| | 保育福祉学専攻 | 30名 |
| | 計 | 100名 |

(履修方法)

第4条 授業科目は、学科別に定めるところにより履修しなければならない。

(他大学および他学部等における授業科目の履修ならびにその取扱い)

第5条 教育上有益と認めるときは、他大学(外国の大学を含む)との協議に基づき、学長は、学生に当該他大学の授業科目を履修させることができる。

2 短期大学または高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修(平成3年度文部省告示第68号に定めるもの)を教育上有益と認めるときは、本大学における授業科目の履修とみなすことができる。

3 前2項の規定により修得した単位については、学部長は教授会の議に基づき、30単位を限度として卒業の要件として認めることができる。

4 教育上有益と認めるときは、学部間の協議に基づき、学長は、学生に他学部の科目を履修させることができる。修得した単位については前項に準じる。

5 第2条第3項により修得した単位は、60単位を超えない範囲で卒業に必要な単位数に含めることができる。

(卒業に必要な単位数)

第6条 卒業に必要な単位数は、次表のとおりとする。

| 科目区分 | 心理学科 | | |
|----------|--------|------|------|
| | 必修 | 選択 | その他 |
| スタンダード科目 | 15 | — | — |
| オプション科目 | — | 19*1 | 10*3 |
| 専門教育科目 | 専門基礎科目 | — | — |
| | 専門科目 | — | |

| | | | |
|---------|---------|------|----|
| 計 | 20 | 60*2 | |
| | 80単位以上 | | |
| 卒業必要単位数 | 35 | 79 | 10 |
| | 124単位以上 | | |

*1 オプション科目(ベーシック・アドバンスド)の科目区分『グローバル』から2単位、『情報学』から1単位を含む19単位以上を修得すること。

*2 「心理実習」、「心理学実践実習(産業・社会)」、「コミュニケーション実習」の3科目のうち、いずれか1科目を含め、各科目区分から60単位以上を修得すること。

*3 オプション科目、所属学科の専門教育科目、他学科の専門教育科目から10単位以上を修得すること。

| 科目区分 | | 医療栄養学科 | |
|----------|--------|---------|-----|
| | | 必修 | 選択 |
| スタンダード科目 | | 15 | — |
| オプション科目 | | 6 | 4 |
| 専門教育科目 | 専門基礎分野 | 44 | 5*1 |
| | 専門応用分野 | 51 | |
| | 計 | 95 | 5 |
| | | 100単位以上 | |
| 卒業必要単位数 | | 116 | 9 |
| | | 125単位以上 | |

*1 『専門応用分野』の「総合演習」から選択必修科目1単位、「臨地実習」から選択必修科目1単位の計2単位を含め、『専門応用分野』および別表第2の1栄養に係る教育に関する科目の「学校栄養教育論Ⅰ」、「学校栄養教育論Ⅱ」から5単位を修得すること。

| 科目区分 | | 医療経営学科 | | |
|----------|--------|---------|----|------|
| | | 必修 | 選択 | その他 |
| スタンダード科目 | | 15 | — | — |
| オプション科目 | | 4 | 4 | 10*1 |
| 専門教育科目 | 専門基礎科目 | 17 | 64 | |
| | 専門科目 | 10 | | |
| | 計 | 27 | 64 | |
| | | 91単位以上 | | |
| 卒業必要単位数 | | 46 | 68 | 10 |
| | | 124単位以上 | | |

*1 オプション科目、所属学科の専門教育科目、他学科の専門教育科目から10単位以上を修得すること。

| 科目区分 | | 医療福祉学科 | | | | | | | | | | | |
|----------|--------|---------|----|----|------|---------|----|----|-----|---------|----|----|------|
| | | 医療福祉学専攻 | | | | 介護福祉学専攻 | | | | 保育福祉学専攻 | | | |
| | | 必修 | 選択 | 選択 | その他 | 必修 | 選択 | 選択 | その他 | 必修 | 選択 | 選択 | その他 |
| スタンダード科目 | | 15 | — | — | — | 15 | — | — | — | 15 | — | — | — |
| オプション科目 | | — | — | 8 | 10*1 | — | — | 8 | 10* | — | — | 8 | 10*3 |
| 専門教育科目 | 専門基礎科目 | 1 | 4 | 42 | | 1 | — | 24 | 2 | 1 | 2 | 30 | |
| | 専門科目 | 10 | 34 | | | 10 | 56 | | | 10 | 48 | | |
| | 計 | 11 | 38 | 42 | | 11 | 56 | 24 | | 11 | 50 | 30 | |
| | | 91単位以上 | | | | 91単位以上 | | | | 91単位以上 | | | |

| | | | | | | | | | | | | |
|---------|---------|----|----|----|---------|----|----|----|---------|----|----|----|
| 卒業必要単位数 | 26 | 38 | 50 | 10 | 26 | 56 | 32 | 10 | 26 | 50 | 38 | 10 |
| | 124単位以上 | | | | 124単位以上 | | | | 124単位以上 | | | |

①医療福祉学専攻

*1 オプション科目、所属学科の専門教育科目、他学科の専門教育科目から10単位以上を修得すること。

②介護福祉学専攻

*2 オプション科目、所属学科の専門教育科目、他学科の専門教育科目から10単位以上を修得すること。

③保育福祉学専攻

*3 オプション科目、所属学科の専門教育科目、他学科の専門教育科目から10単位以上を修得すること。

第2章 履修申請

(履修許可)

第7条 学生は、その年度に履修しようとする授業科目を履修申請により学部長に申請して許可を得なければならない。

(履修申請)

第8条 履修申請は、毎年学部長が定める期間および申請要領に従って、申請しなければならない。

- 2 正当な理由がなく、所定の期間内に履修申請しない者は、履修を許可しない。
- 3 既に合格または単位を認定した授業科目を再度履修することはできない。
- 4 同時限に重複して履修することはできない。
- 5 前項にかかわらず、医療栄養学科においては、新たに履修する科目と前年度不合格科目とが重複する場合、前年度不合格の必修および選択必修科目(成績評価Dの科目に限る)について3科目以内は、再受験科目として重複申請することができる。ただし、実験・実習・演習科目、スタンダード科目およびオプション科目を除く。
- 6 授業科目によっては、その内容との関連において別に定める授業科目(以下「先修科目」という)の単位を前もって修得していなければ、当該科目の履修を許可しないことがある。
- 7 先修科目については、別表第2に定める。

(履修単位の上限)

第9条 1年間に履修申請できる単位数は、48単位以内とする。ただし、留学生特例科目、卒業に必要な単位数に含まれない科目および再受験科目として申請している科目を除く。

- 2 所定の単位数を優れた成績をもって修得した学生については、前項に定める上限を超えて履修科目の登録を認めることができる。
- 3 第1項にかかわらず、編入学した者および学部長が特に許可した者はこの限りでない。

(履修申請科目の変更等)

第10条 履修申請後は、授業時間割の変更の場合を除いて、原則として追加、訂正および変更を認めない。

(履修許可の取消し)

第11条 履修許可後においてこの規定および履修申請要領等に違反して申請していることが判明したときは、当該科目の履修許可を取り消す。

(履修辞退)

第12条 学生から履修辞退の申し出があった場合、教育的効果を考慮してこれを認めることがある。

- 2 履修辞退の手続方法、その他必要な事項は学部長が別に定める。

第3章 教職課程

(教育職員免許状の種類)

第13条 学則第29条の2に定める教育職員免許状の種類は、つぎのとおりとする。

| 学科 | 免許状の種類 | 免許教科 |
|--------|-------------|------|
| 医療栄養学科 | 栄養教諭一種免許状 | — |
| 医療福祉学科 | 高等学校教諭一種免許状 | 福祉 |

(基礎資格および最低修得単位)

第14条 高等学校教諭一種免許(以下「高一種免」という)および栄養教諭一種免許状(以下「栄教一種免」という)を取得するためには、基礎資格として、学士の学位を有し、かつ、別表第3に定める教育職員免許状取得のために必要な科目を履修し、単位を修得しなければならない。

(教職にかかる履修申請)

第15条 前条の単位修得のためには、第7条に定める履修申請のほか、教育実習および栄養教育実習を履修するためには、別に定める申請要領に従って、教育実習申請書を教育・学生支援機構を経て学部長に提出し、その許可を受けなければならない。

(教育職員免許状出願手続)

第16条 第14条に定める単位を修得した学生は、別に定める期間および出願要領に従ってつぎの各号に掲げる書類に手数料を添えて、教育・学生支援機構に提出し、免許状の交付事務を依頼することができる。

イ 教育職員免許状授与申請願

ロ 教育職員免許状授与願・宣誓書・履歴書

第4章 成績評価および試験

(成績評価等)

第17条 成績の評価は学則第26条に定めるところにより、試験のほか、学生の日常の学修状況等を勘案して行う。

2 成績はS・A・B・C・D・E・*の7種の評語をもって表し、その評価基準はつぎのとおりとする。また、それぞれのグレードポイント(以下「GP」という)はつぎのとおりとする。ただし、再試験で合格の場合はすべてCの評語とする。

「S」 : 100~90点(GP : 4)

「A」 : 89~80点(GP : 3)

「B」 : 79~70点(GP : 2)

「C」 : 69~60点(GP : 1)

「D」 : 59~30点(GP : 0)

「E」 : 29~0点(GP : 0)

「*」 : 評価不能

3 成績評価S、A、B、Cを合格とし、所定の単位を与える。

4 編入学等で単位認定を受けた授業科目は、「認」と表示する。また、再入学および転学部等で単位を認定した科目の評価は、学部長が別に定める。

5 単に合格または不合格をもって示す授業科目は、当該科目が合格の場合は「G」、不合格の場合は「F」と表示する。

6 第2項の成績評価による学業結果を有効利用するために、グレードポイントアベレージ(以下「GPA」という)を用いる。

7 前項に定めるGPAは、各履修科目の単位数にGPを乗じた積の合計を、総履修単位数で除して算出する。

8 つぎの授業科目は、GPAの計算対象としない。

イ 卒業要件に含むことができない授業科目

ロ 評価を「認」、「G」、「F」で表示する授業科目

ハ 履修辞退した授業科目(ただし、再履修した授業科目を辞退した場合は、既に評価された成績をもって計算対象とする)

ニ その他別に定める授業科目

(試験の方法等)

第18条 試験は、履修許可を得た科目についてのみ受けることができるものとする。

2 試験は、当該科目の授業期間中に担当教員が随時行うものとする。

3 試験の方法は、筆記、口頭試問および実技とする。

4 教育上必要な場合は、追試験および再試験を実施することがある。

- 5 追試験は、病気その他やむを得ない理由により受験できなかった者に対して行う試験をいう。
- 6 再試験は、日常の学修状況が良好であるにもかかわらず、成績が合格点に達しなかった者に対して行う試験をいう。ただし、実験・実習・演習科目は除く。

(追試験および再試験の申請ならびに許可)

第19条 前条第5項の追試験を受けようとする者は、当該科目の試験終了日の翌日から起算して3日以内に、その理由を証明する書類を添えて受験不能届兼追試験願書を学部長に提出して許可を得なければならない。

2 再試験が受けられる授業科目数は、学部長が別に定める。

3 追試験および再試験の申請要領ならびに実施要領は、学部長が別に定める。

第5章 1年間の授業期間および授業時間

(1年間の授業期間)

第20条 1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを原則とする。

(授業出席の義務)

第21条 学生は、履修許可を受けたすべての授業に出席し、遅刻、欠席等のないよう努めなければならない。

(授業時間)

第22条 授業は、2時間を1時限として、つぎのとおりとする。

| 1時限 | 2時限 | 3時限 | 4時限 | 5時限 |
|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 9:00~10:30 | 10:40~12:10 | 13:00~14:30 | 14:40~16:10 | 16:20~17:50 |

第6章 進級要件

(進級要件)

第23条 各年次に進級するためには所定の単位を修得しなければならない。

心理学科

イ 第2年次

| | |
|----------|-------------------------|
| スタンダード科目 | 「アカデミックリテラシー」を含め6単位以上修得 |
| オプション科目 | — |
| 専門教育科目 | — |

ロ 第3年次

| | |
|----------|---|
| スタンダード科目 | 「スタンダード科目」、「オプション科目」、「専門教育科目」を含め、卒業に必要な単位数のうち50単位以上修得 |
| オプション科目 | |
| 専門教育科目 | |

ハ 第4年次

| | |
|----------|----------------------------------|
| スタンダード科目 | 13単位以上修得 |
| オプション科目 | 11単位以上修得 |
| 専門教育科目 | 必修科目13単位および選択科目51単位を含め、計64単位以上修得 |

医療栄養学科

イ 第2年次

| | |
|----------|---|
| スタンダード科目 | 「アカデミックリテラシー」、「チュートリアル」、「専門職連携基礎演習Ⅰ」、「専門職連携基礎演習Ⅱ」を含め4単位以上修得 |
| オプション科目 | — |
| 専門教育科目 | 必修科目の中から24単位以上修得 |

ロ 第3年次

| | |
|----------|------------------|
| スタンダード科目 | — |
| オプション科目 | — |
| 専門教育科目 | 必修科目の中から65単位以上修得 |

ハ 第4年次

| | |
|----------|------------|
| スタンダード科目 | 必修科目15単位修得 |
|----------|------------|

| | |
|---------|-------------------------------|
| オプション科目 | 必修科目6単位および選択科目4単位を含め、10単位以上修得 |
| 専門教育科目 | 必修科目の中から82単位以上修得 |

医療経営学科

イ 第2年次

| | |
|----------|------------------------|
| スタンダード科目 | — |
| オプション科目 | — |
| 専門教育科目 | 必修科目および選択科目から計10単位以上修得 |

ロ 第3年次

| | |
|----------|------------------------------------|
| スタンダード科目 | — |
| オプション科目 | — |
| 専門教育科目 | 1、2年次開講科目のうち、必修科目および選択科目から30単位以上修得 |

ハ 第4年次

| | |
|--------------------|--|
| スタンダード科目 | 10単位以上を修得 |
| オプション科目 | 必修科目および選択科目から計4単位以上を修得 |
| 専門教育科目 (他学科も含む) | 必修科目および選択科目から66単位以上を修得。ただし、「医療ボランティア」、「フィールドワーク」、「医療施設管理実習」のうち、いずれか1科目を修得すること。 |

医療福祉学科

①医療福祉学専攻

イ 第2年次

| | |
|----------|----------------------------|
| スタンダード科目 | 「アカデミックリテラシー」の単位を修得 |
| オプション科目 | — |
| 専門教育科目 | 第1年次配当科目の選択必修科目のうち8単位以上を修得 |

ロ 第3年次

| | |
|----------|-----------------------------------|
| スタンダード科目 | — |
| オプション科目 | — |
| 専門教育科目 | 第2年次配当科目の必修科目および選択必修科目のうち6単位以上を修得 |

ハ 第4年次

| | |
|----------|--|
| スタンダード科目 | 必修科目15単位以上修得 |
| オプション科目 | 4単位以上修得 |
| 専門教育科目 | 必修科目および選択必修科目から30単位以上ならびに選択科目30単位以上を含め、計60単位以上修得 |

②介護福祉学専攻

イ 第2年次

| | |
|----------|-----------------------------|
| スタンダード科目 | 「アカデミックリテラシー」の単位を修得 |
| オプション科目 | — |
| 専門教育科目 | 第1年次配当科目の選択必修科目のうち12単位以上を修得 |

ロ 第3年次

| | |
|----------|-----------------------------------|
| スタンダード科目 | — |
| オプション科目 | — |
| 専門教育科目 | 第2年次配当科目の必修科目および選択必修科目のうち5単位以上を修得 |

ハ 第4年次

| | |
|----------|--------------|
| スタンダード科目 | 必修科目15単位以上修得 |
| オプション科目 | 4単位以上修得 |

| | | | | | | | | | | |
|---------------|---|------|------|--|--|--|--|--|--|--|
| 習Ⅱ | | | | | | | | | | |
| 地域創生と危機管理 | ① | (30) | (30) | | | | | | | |
| デジタルコミュニケーション | ① | 30 | | | | | | | | |
| データサイエンスⅠ | ① | | 30 | | | | | | | |
| 英語コミュニケーションⅠ | ① | 30 | | | | | | | | |
| 英語コミュニケーションⅡ | ① | | 30 | | | | | | | |
| 英語リーディングⅠ | ① | 30 | | | | | | | | |
| 英語リーディングⅡ | ① | | 30 | | | | | | | |
| スポーツ学 | ① | (15) | (15) | | | | | | | |
| スポーツ実習Ⅰ | ① | (30) | (30) | | | | | | | |

②医療栄養学科

注1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目

2 時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

| 科目区分 | 授業科目 | 単位数 | 配当年次・学期・時間数 | | | | | | | | 備考 | | |
|----------|---------------|-----|-------------|------|------|------|------|------|------|------|----|--|--|
| | | | 1年次 | | 2年次 | | 3年次 | | 4年次 | | | | |
| | | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | | | |
| スタンダード科目 | アカデミックリテラシー | ① | 30 | | | | | | | | | | |
| | チュートリアル | ① | 30 | | | | | | | | | | |
| | 専門職連携基礎演習Ⅰ | ① | (30) | (30) | | | | | | | | | |
| | 専門職連携基礎演習Ⅱ | ① | (30) | (30) | | | | | | | | | |
| | 専門職連携総合演習Ⅰ | ① | | | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| | 専門職連携総合演習Ⅱ | ① | | | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| | 地域創生と危機管理 | ① | | | | | (30) | (30) | | | | | |
| | デジタルコミュニケーション | ① | 30 | | | | | | | | | | |
| | データサイエンスⅠ | ① | | 30 | | | | | | | | | |
| | 英語コミュニケーションⅠ | ① | 30 | | | | | | | | | | |
| | 英語コミュニケーションⅡ | ① | | 30 | | | | | | | | | |
| | 英語リーディングⅠ | ① | | | 30 | | | | | | | | |
| | 英語リーディングⅡ | ① | | | | 30 | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | |
|--|----------|---|------|------|------|------|--|--|--|--|--|--|
| | II | | | | | | | | | | | |
| | スポーツ学 | ① | | | (15) | (15) | | | | | | |
| | スポーツ実習 I | ① | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | | | |

2 オプション科目

①心理学科

注 時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

| 科目区分 | 授業科目 | 単位数 | 配当年次・学期・時間数 | | | | | | | | 備考 | | |
|--------------------|-------------------|-----------|-------------|------|------|------|------|------|------|----|----|--|--|
| | | | 1年次 | | 2年次 | | 3年次 | | 4年次 | | | | |
| | | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | | | |
| オプション科目 (グローバル) | 中国語 I | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | | |
| | 中国語 II | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | | |
| | ドイツ語 I | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | | |
| | ドイツ語 II | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | | |
| | 情報科学 | プログラミング I | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | 人間と文化 | 哲学 | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | | 文学 | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | | 心理学 | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | | 芸術学 | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | | 文化人類学 | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | 人間と社会 | 法学 | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | | 経済学 | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | | 歴史学 | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | | 政治学 | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | 人間と自然 | 統計学 | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | | 数学基礎 | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | | 数学 | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | | 物理学 | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | | 化学 | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | | 生物学 | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| 科学実験a | | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | | |
| 科学実験b | | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | | |
| 総合 | 日本語表現法 | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | | |
| | コミュニケーション論 | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | | |
| オプション科目 (アドバン) | Reading & Writing | 1 | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | | |
| | 英語プレゼンテーション | 1 | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | | |
| | 検定英語 | 1 | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | | |
| | グローバル化と人間a | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | | |
| | グローバル化と人間b | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | | |
| 情報科学 | データサイエンス II | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | | |
| | データ解析 | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | |
|-------------|-----------|--------|------|------|------|------|------|------|------|--|--|--|
| ス ド) | プログラミングⅡ | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | 保健 体育 | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | 人間 と文化 | 人間と文化a | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| | | 人間と文化b | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| | 人間 と社会 | 人間と社会a | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| | | 人間と社会b | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| | 人間 と自然 | 人間と自然a | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| | | 人間と自然b | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| | 総合 | 教養ゼミ | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |

【留学生特例科目】

| 科目区分 | 授業科目 | 単位数 | 配当年次・学期・時間数 | | | | | | | | 備考 | |
|-----------------------|---------------|-------|-------------|------|------|------|------|------|------|----|----|--|
| | | | 1年次 | | 2年次 | | 3年次 | | 4年次 | | | |
| | | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | | |
| オ プ シ ョ ン | 人間 と社 会 | 日本事情a | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| | | 日本事情b | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| グ ロ ー バ ル | グロー バル | 日本語Ⅰ | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| | | 日本語Ⅱ | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |

〔注〕 留学生特例科目において修得した単位は、学部および学科で履修すべき単位数のうち、つぎに掲げるもので代えることができる。

ただし、その履修に関しては学部または学科の指示に従うものとする。

1 オプション科目(ベーシック)の人間と社会の2単位までを「日本事情a」または「日本事情b」の単位数

2 オプション科目のグローバルの4単位までを「日本語Ⅰ」、「日本語Ⅱ」の単位数

②医療栄養学科

注1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目

2 時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

| 科目区分 | 授業科目 | 単位数 | 配当年次・学期・時間数 | | | | | | | | 備考 | |
|--|---------------|----------|-------------|------|------|------|------|------|------|----|----|--|
| | | | 1年次 | | 2年次 | | 3年次 | | 4年次 | | | |
| | | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | | |
| オ プ シ ョ ン | グロー バル | 中国語Ⅰ | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| | | 中国語Ⅱ | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| | | ドイツ語Ⅰ | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| | | ドイツ語Ⅱ | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| 情報 科学 | | プログラミングⅠ | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| 人 間 (と文 化 シ ス テ ム | 人間 と文 化 | 哲学 | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| | | 文学 | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| | | 心理学 | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| | | 芸術学 | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| | | 文化人類学 | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| 人間 | | 日本国憲法 | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |

| | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------------------|--|-------------------|------|------|------|------|------|------|------|--|--|--|
| ク と社 会 人間 と自 然 総合 | 経済学 | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | 歴史学 | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | 政治学 | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | 統計学 | ② | (30) | (30) | | | | | | | | |
| | 数学基礎 | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | 数学 | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | 物理学 | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | 化学 | ② | (30) | (30) | | | | | | | | |
| | 生物学 | ② | (30) | (30) | | | | | | | | |
| | 科学実験a | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | 科学実験b | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | 日本語表現法 | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | コミュニケーション論 | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | オ グ ロ ー バ ル イ ン テ ル ナ シ ョ ン 科 目 (ア ド バ ン ド ド 保 健 体 育 人 間 と 文 化 人 間 と 社 会 人 間 と 自 然 総 合 | Reading & Writing | 1 | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| | | 英語プレゼンテーション | 1 | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| 検定英語 | | 1 | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| グローバル化と人間a | | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| グローバル化と人間b | | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| データサイエンスⅡ | | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| データ解析 | | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| プログラミングⅡ | | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| スポーツ実習Ⅱ | | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| 人間と文化a | | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| 人間と文化b | | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| 人間と社会a | | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| 人間と社会b | | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| 人間と自然a | | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| 人間と自然b | | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| 教養ゼミ | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | | |

【留学生特例科目】

| 科目区分 | 授業科目 | 単位数 | 配当年次・学期・時間数 | | | | | | | | 備考 |
|------------------------|----------|-----|-------------|------|------|------|------|------|-----|----|----|
| | | | 1年次 | | 2年次 | | 3年次 | | 4年次 | | |
| | | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | |
| オ と社 会 シ ョ | 人間 日本事情a | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| | 人間 日本事情b | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| グロ | 日本語 I | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|-------|------|---|------|------|------|------|------|------|--|--|--|
| グローバル | 日本語Ⅱ | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
|-------|------|---|------|------|------|------|------|------|--|--|--|

〔注〕 留学生特例科目において修得した単位は、学部および学科で履修すべき単位数のうち、つぎに掲げるもので代えることができる。

ただし、その履修に関しては学部または学科の指示に従うものとする。

1 オプション科目(ベーシック)の人間と社会の2単位までを「日本事情a」または「日本事情b」の単位数

2 オプション科目のグローバルの4単位までを「日本語Ⅰ」、「日本語Ⅱ」の単位数

③医療経営学科

注1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目

2 時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

| 科目区分 | 授業科目 | 単位数 | 配当年次・学期・時間数 | | | | | | | | 備考 | |
|----------------------|-------------------|-----|-------------|------|------|------|------|------|------|----|----|--|
| | | | 1年次 | | 2年次 | | 3年次 | | 4年次 | | | |
| | | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | | |
| グローバル オプション 科目 | 中国語Ⅰ | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | 中国語Ⅱ | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | ドイツ語Ⅰ | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | ドイツ語Ⅱ | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| 情報科学 | プログラミングⅠ | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| 人間と文化 (ベーシック) | 哲学 | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | 文学 | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | 心理学 | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | 芸術学 | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | 文化人類学 | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | 人間と社会 | 法学 | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| | | 経済学 | ② | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| | | 歴史学 | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| | | 政治学 | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| | 人間と自然 | 統計学 | ② | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| 数学基礎 | | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| 数学 | | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| 物理学 | | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| 化学 | | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| 生物学 | | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| 科学実験a | | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| 科学実験b | | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| 総合 | 日本語表現法 | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | コミュニケーション論 | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| グローバル オプション 科目 | Reading & Writing | 1 | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | 英語プレゼンテーション | 1 | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | 検定英語 | 1 | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | グローバル化と人間a | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-----|----------------------------|-------------------|-------------------|--------|------|------|------|------|------|------|------|--|--|
| (ア) | ド バ ン ス ド) | グローバル化と人間b | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | | 情報 バ ン ス | データサイエンスⅡ | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| | | | データ解析 | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| | | | プログラミングⅡ | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| | | 保健 体 育 | スポーツ実習Ⅱ | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| | | | 人間 と 文 化 | 人間と文化a | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | |
| | | 人間と文化b | | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| | | 人間 と 社 会 | 人間と社会a | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| | | | 人間と社会b | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| | | 人間 と 自 然 | 人間と自然a | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| | | | 人間と自然b | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| | | 総合 | 教養ゼミ | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |

【留学生特例科目】

| 科目区分 | 授業科目 | 単位数 | 配当年次・学期・時間数 | | | | | | | | 備考 |
|-----------------------|----------------|-----|-------------|------|------|------|------|------|-----|----|----|
| | | | 1年次 | | 2年次 | | 3年次 | | 4年次 | | |
| | | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | |
| オ プ シ ョ ン | 人間と社会 日本事情a | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| | 日本事情b | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| グ ロ ー バ ル | 日本語Ⅰ | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| | 日本語Ⅱ | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |

〔注〕 留学生特例科目において修得した単位は、学部および学科で履修すべき単位数のうち、つぎに掲げるもので代えることができる。

ただし、その履修に関しては学部または学科の指示に従うものとする。

1 オプション科目(ベーシック)の人間と社会の2単位までを「日本事情a」または「日本事情b」の単位数

2 オプション科目のグローバルの4単位までを「日本語Ⅰ」、「日本語Ⅱ」の単位数

④医療福祉学科

注 時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

| 科目区分 | 授業科目 | 単位数 | 配当年次・学期・時間数 | | | | | | | | 備考 | |
|---------------------------------|-----------------------|-------|-------------|------|------|------|------|------|------|----|----|--|
| | | | 1年次 | | 2年次 | | 3年次 | | 4年次 | | | |
| | | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | | |
| オ プ シ ョ ン 目 (| グ ロ ー バ ル | 中国語Ⅰ | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| | | 中国語Ⅱ | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| | ヨ ン 目 (| ドイツ語Ⅰ | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| | | ドイツ語Ⅱ | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| 情 報 学 目 (| プログラミングⅠ | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | 人間 と 文 | 哲学 | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| 文学 | | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |

| | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------------------|-------|-------|---|------|------|------|------|------|------|--|--|--|
| オプション シ ョ ン バ ー ル | 人間と社会 | 日本事情a | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| | | 日本事情b | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| | グローバル | 日本語Ⅰ | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| | | 日本語Ⅱ | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |

〔注〕 留学生特例科目において修得した単位は、学部および学科で履修すべき単位数のうち、つぎに掲げるもので代えることができる。

ただし、その履修に関しては学部または学科の指示に従うものとする。

1 オプション科目(ベーシック)の人間と社会の2単位までを「日本事情a」または「日本事情b」の単位数

2 オプション科目のグローバルの4単位までを「日本語Ⅰ」、「日本語Ⅱ」の単位数

3 専門教育科目

イ 心理学科

注1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目

2 時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

| 科目区分 | 授業科目 | 単位数 | 配当年次・学期・時間数 | | | | | | | | 備考 | |
|---------|---------------------|-----|-------------|------|------|------|------|------|------|------|----|--|
| | | | 1年次 | | 2年次 | | 3年次 | | 4年次 | | | |
| | | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | | |
| 専門教育科目 | 日本語基礎演習Ⅰ (話す・聞く) | ① | (30) | (30) | | | | | | | | |
| | 日本語基礎演習Ⅱ (読む・書く) | ① | (30) | (30) | | | | | | | | |
| | 心理学概論 | ② | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | | | |
| | 学習・言語心理学 | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | | | |
| | 発達心理学 | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | | | |
| | 感情・人格心理学 | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | | | |
| | 動物心理学 | 2 | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | 知覚・認知心理学 | 2 | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | 神経・生理心理学 | 2 | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | 色彩心理学 | 2 | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | 心理学統計法 | ② | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | 心理学研究法A | ② | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | 心理学研究法B | 2 | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | 心理学研究法C | 2 | | | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | |
| | ストレスマネジメント演習 | ① | (15) | (15) | | | | | | | | |
| | 心理学実験 | ② | | | (60) | (60) | | | | | | |
| | 心理学応用実験 | 1 | | | (30) | (30) | | | | | | |
| | コミュニケーション演習 | ① | | | (30) | (30) | | | | | | |
| | 専門演習Ⅰ | ② | | | | | (60) | (60) | | | | |
| | 専門演習Ⅱ | ② | | | | | (60) | (60) | | | | |
| 多変量解析演習 | 2 | | | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| 外国書講読 | 2 | | | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| 卒業研究Ⅰ | ② | | | | | | | (60) | (60) | | | |
| 卒業研究Ⅱ | ② | | | | | | | (60) | (60) | | | |

| | | | | | | | | | | | | |
|-----------|----------------|---|------|------|------|------|------|------|------|------|--|--|
| 臨床心理学系 | 臨床心理学概論 | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | | | |
| | 心理学的支援法 | 2 | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | 公認心理師の職責 | 2 | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | 心理的アセスメント | 2 | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | 障害者・障害児心理学 | 2 | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | 認知行動療法 | 2 | | | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | |
| | 教育・学校心理学 | 2 | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | 心理学の現場(教育・発達) | 2 | | | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | |
| | 学校カウンセリング | 2 | | | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | |
| | 心理演習Ⅰ | 2 | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | 心理演習Ⅱ | 2 | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | 心理実習 | 2 | | | | | (90) | (90) | (90) | (90) | | |
| | 関係行政論 | 2 | | | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | |
| 医療・健康・福祉系 | 健康・医療心理学 | 2 | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | コミュニティ心理学 | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | | | |
| | 福祉心理学 | 2 | | | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | |
| | 公衆衛生学 | 2 | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | 睡眠改善学 | 2 | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | 人体の構造と機能及び疾病 | 2 | | | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | |
| | 精神疾患とその治療Ⅰ | 2 | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | 精神疾患とその治療Ⅱ | 2 | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| 高齢者支援演習 | 2 | | | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| 産業・社会系 | 社会・集団・家族心理学A | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | | | |
| | 社会・集団・家族心理学B | 2 | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | 社会調査法概論 | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | |
| | 司法・犯罪心理学 | 2 | | | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | |
| | 消費者心理学 | 2 | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | 産業・組織心理学 | 2 | | | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | |
| | 社会心理調査法実習Ⅰ | 1 | | | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | |
| | 社会心理調査法実習Ⅱ | 1 | | | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | |
| | 心理学実践実習(産業・社会) | 1 | | | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | |
| コミュニティ | 地域支援実習 | 1 | (45) | (45) | | | | | | | | |
| | ビジネス演習 | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | |
| | コミュニケーション | 2 | | | | | (60) | (60) | (60) | (60) | | |

| | | | | | | | | | | | |
|---|---------------------|---|--|--|------|------|------|------|------|------|--|
| ニ ケ ー シ ョ ン プ ロ グ ラ ム | ン実習 | | | | | | | | | | |
| | メディアコミュニ ケーション実習 | 1 | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| | キャリア体験 | 1 | | | | | (30) | (30) | (30) | (30) | |

ロ 医療栄養学科

注1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目

2 単位数を□で囲んだ授業科目は選択必修科目

3 時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

| 科目区 分 | 授業科目 | 単位 数 | 配当年次・学期・時間数 | | | | | | | | 備考 | | |
|---|---|---------|-------------|------|------|------|------|----|-----|----|----|--|--|
| | | | 1年次 | | 2年次 | | 3年次 | | 4年次 | | | | |
| | | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | | | |
| 専 門 基 礎 分 野 | 医療 人 養 成 に 向 け た 基 礎 教 育 | 管理栄養士概論 | ① | (15) | (15) | | | | | | | | |
| | | 早期体験学習 | ① | (30) | (30) | | | | | | | | |
| | | 医療・生命倫理 | ① | (15) | (15) | | | | | | | | |
| | | 医学・医療概論 | ① | (15) | (15) | | | | | | | | |
| 社 会 ・ 環 境 と 健 康 | | 公衆衛生学Ⅰ | ② | (30) | (30) | | | | | | | | |
| | | 公衆衛生学Ⅱ | ② | (30) | (30) | | | | | | | | |
| | | 公衆衛生学Ⅲ | ② | | | (30) | (30) | | | | | | |
| 人 体 の 構 造 と 機 能 及 | | 生理学 | ② | (30) | (30) | | | | | | | | |
| | | 解剖学 | ② | (30) | (30) | | | | | | | | |
| | | 生理解剖学実習 | ① | (45) | (45) | | | | | | | | |
| | | 生化学Ⅰ | ② | (30) | (30) | | | | | | | | |
| | | 生化学Ⅱ | ② | (30) | (30) | | | | | | | | |
| | | 生化学実験Ⅰ | ① | (45) | (45) | | | | | | | | |
| | | 生化学実験Ⅱ | ① | | | (45) | (45) | | | | | | |
| | | 病態学Ⅰ | ② | (30) | (30) | | | | | | | | |
| | 病態学Ⅱ | ② | | | (30) | (30) | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------------------|-----------------------|----------|------|------|------|------|------|------|------|--|--|--|
| び 疾 病 の 成 り 立 ち | 病態学Ⅲ | ② | | | (30) | (30) | | | | | | |
| | 病態生理学実習 | ① | | | (45) | (45) | | | | | | |
| 食 べ 物 と 健 康 | 調理学 | ② | (30) | (30) | | | | | | | | |
| | 調理学実習 | ① | (45) | (45) | | | | | | | | |
| | 調理科学実験 | ① | (45) | (45) | | | | | | | | |
| | 食品化学Ⅰ | ② | (30) | (30) | | | | | | | | |
| | 食品化学Ⅱ | ② | | | (30) | (30) | | | | | | |
| | 食品化学実験 | ① | | | (45) | (45) | | | | | | |
| | 食品加工学 | ② | | | (30) | (30) | | | | | | |
| | 食品加工学実習 | ① | | | | | (45) | (45) | | | | |
| | 食品衛生学 | ② | (30) | (30) | | | | | | | | |
| | 食品衛生学実験 | ① | | | (45) | (45) | | | | | | |
| | 献立作成実習 | ① | | | (45) | (45) | | | | | | |
| 専 門 応 用 分 野 | 基 礎 栄 養 学 | 基礎栄養学 | ② | (30) | (30) | | | | | | | |
| | | 基礎栄養学実験 | ① | | | (45) | (45) | | | | | |
| | | 食事摂取基準演習 | ① | | | (30) | (30) | | | | | |
| | 応 用 栄 養 学 | 応用栄養学Ⅰ | ② | | | (30) | (30) | | | | | |
| | | 応用栄養学Ⅱ | ② | | | (30) | (30) | | | | | |
| | | 応用栄養学Ⅲ | ② | | | (30) | (30) | | | | | |
| | | 応用栄養学実習 | ① | | | (45) | (45) | | | | | |
| | 栄 養 教 育 論 | 栄養教育論Ⅰ | ② | (30) | (30) | | | | | | | |
| | | 栄養教育論Ⅱ | ② | | | (30) | (30) | | | | | |
| | | 栄養教育論Ⅲ | ② | | | (30) | (30) | | | | | |
| | | 栄養教育論実習 | ① | | | (45) | (45) | | | | | |
| | 臨 床 栄 養 学 | 臨床栄養学総論 | ② | | | (30) | (30) | | | | | |
| | | 臨床栄養学各論Ⅰ | ② | | | (30) | (30) | | | | | |
| | | 臨床栄養学各論Ⅱ | ② | | | | | (30) | (30) | | | |
| 臨床栄養学各論Ⅲ | | ② | | | | | (30) | (30) | | | | |
| 臨床栄養学実習Ⅰ | | ① | | | | | (45) | (45) | | | | |
| 臨床栄養学実習Ⅱ | | ① | | | | | (45) | (45) | | | | |
| 公 衆 栄 養 学 | 公衆栄養学Ⅰ | ② | | | (30) | (30) | | | | | | |
| | 公衆栄養学Ⅱ | ② | | | | | (30) | (30) | | | | |
| | 公衆栄養学実習 | ① | | | | | (45) | (45) | | | | |
| 給 食 | 給食経営管理総論 | ② | | | (30) | (30) | | | | | | |
| | 給食経営管理各論 | ② | | | (30) | (30) | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|-------|-------------------|---|------|------|------|------|------|------|------|------|--|
| 経営管理論 | 給食経営管理実習 I | ① | | | (45) | (45) | | | | | |
| | 給食経営管理実習 II | ① | | | | | (45) | (45) | | | |
| 総合演習 | 総合演習 I | ① | | | | | (30) | (30) | | | |
| | 総合演習 II | ① | | | | | | | (30) | (30) | |
| | 総合演習 III | ① | | | | | | | (30) | (30) | |
| | 総合演習 IV | ① | | | | | | | (30) | (30) | |
| | 総合演習 V | ① | | | | | | | (30) | (30) | |
| | 総合専門演習 I | ① | | | | | (30) | (30) | | | |
| | 総合専門演習 II | ② | | | | | | | (60) | (60) | |
| 臨地実習 | 臨地実習 I (給食の運営) | ① | | | | | (45) | (45) | | | |
| | 臨地実習 II (給食経営管理論) | ① | | | | | | | (45) | (45) | |
| | 臨地実習 III (臨床栄養学) | ② | | | | | | | (90) | (90) | |
| | 臨地実習 IV (臨床栄養学) | ① | | | | | | | (45) | (45) | |
| | 臨地実習 V (公衆栄養学) | ① | | | | | | | (45) | (45) | |
| 関連科目 | 食育演習 I | 1 | (30) | (30) | | | | | | | |
| | 食育演習 II | 1 | | | (30) | (30) | | | | | |
| | 食育演習 III | 1 | | | | | (30) | (30) | | | |
| | 国際栄養支援学演習 | 1 | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | | |
| | スポーツ栄養サポート論 | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | (30) | |
| | 食医特論 | 2 | | | | | (30) | (30) | | | |
| | 栄養薬学 | 2 | | | | | (30) | (30) | | | |
| | 医療・福祉・介護と栄養ケア | 2 | | | | | (30) | (30) | | | |
| | 卒業研究 I | ② | | | | | | | (60) | (60) | |
| | 卒業研究 II | ② | | | | | | | (60) | (60) | |

ハ 医療経営学科

注1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目

2 時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

| 科目区分 | 授業科目 | 単位数 | 配当年次・学期・時間数 | | | | | | | | 備考 |
|--------|---------|-----|-------------|------|------|------|-----|----|-----|----|----|
| | | | 1年次 | | 2年次 | | 3年次 | | 4年次 | | |
| | | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | |
| 専門教育科目 | 経営学入門 | ② | (30) | (30) | | | | | | | |
| | 医療制度論 | ② | (30) | (30) | | | | | | | |
| | 社会保障論 | ② | (30) | (30) | | | | | | | |
| | 医学・医療概論 | ② | (30) | (30) | | | | | | | |
| | 医療関連法規 | ② | | | (30) | (30) | | | | | |
| | 医学用語概論 | ② | | | (30) | (30) | | | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|---------------|---|------|------|------|------|------|------|------|--|--|--|
| メディカル・イングリッシュ | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | |
| 臨床医学Ⅰ | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | |
| 臨床医学Ⅱ | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | |
| 臨床医学Ⅲ | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | |
| 臨床医学Ⅳ | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | |
| 医療倫理 | 1 | | | (15) | (15) | | | | | | |
| 公衆衛生学 | 1 | | | | (15) | (15) | | | | | |
| 薬学概論 | 2 | | | | (30) | (30) | | | | | |
| 疾病分類学Ⅰ | 2 | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| 疾病分類学Ⅱ | 2 | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| 疾病分類学演習 | 1 | | | | (30) | (30) | | | | | |
| 診療情報管理演習Ⅰ | 1 | | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| 診療情報管理演習Ⅱ | 1 | | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| 診療情報管理演習Ⅲ | 1 | | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| 診療報酬制度論 | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | |
| 診療報酬請求演習Ⅰ | 1 | | | (30) | (30) | | | | | | |
| 診療報酬請求演習Ⅱ | 1 | | | (30) | (30) | | | | | | |
| 医師事務作業論 | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | |
| 医師事務作業演習 | 1 | | | (30) | (30) | | | | | | |
| 医療事務概論 | 2 | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| 医療統計学 | 2 | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| 医療情報学Ⅰ | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | |
| 医療情報学Ⅱ | 2 | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| 医療情報システム | 2 | | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| 医療情報システム演習 | 1 | | | | | | (30) | (30) | | | |
| 診療情報管理論 | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | |
| 情報システム学Ⅰ | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | |
| 情報システム学Ⅱ | 2 | | | | (30) | (30) | | | | | |
| 医療経営データベース演習 | 1 | | | | (30) | (30) | | | | | |
| 医療経営情報処理演習 | 1 | | | | (30) | (30) | | | | | |
| 医療経営総合演習 | 1 | | | (15) | (15) | (15) | (15) | | | | |
| ビジネスマナー・接遇演習 | 1 | | | | (30) | (30) | | | | | |
| 医療ボランティア | 1 | (30) | (30) | | | | | | | | |
| 医療施設管理実習事前演習 | 1 | | | (30) | (30) | | | | | | |
| 医療施設管理実習 | 2 | | | | (90) | (90) | | | | | |
| フィールドワーク | 1 | | | | (30) | (30) | | | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|--|-------------|---|--|--|------|------|------|------|------|------|--|
| | インターンシップ I | 1 | | | (45) | (45) | | | | | |
| | インターンシップ II | 1 | | | (45) | (45) | | | | | |
| | 医療経営演習 I | ① | | | (30) | (30) | | | | | |
| | 医療経営演習 II | ① | | | (30) | (30) | | | | | |
| | 専門演習 I | ② | | | | | (60) | (60) | | | |
| | 専門演習 II | ② | | | | | (60) | (60) | | | |
| | 卒業研究 I | ② | | | | | | | (60) | (60) | |
| | 卒業研究 II | ② | | | | | | | (60) | (60) | |

ニ 医療福祉学科

①医療福祉学専攻

注1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目

2 単位数を□で囲んだ授業科目は選択必修科目

3 時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

| 科目区分 | 授業科目 | 単位数 | 配当年次・学期・時間数 | | | | | | | | 備考 | |
|-----------------|--------------------------|-----|-------------|------|------|------|------|------|-----|----|----|--|
| | | | 1年次 | | 2年次 | | 3年次 | | 4年次 | | | |
| | | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | | |
| 専門基礎科目 | 現代社会の原理と政策 I | 2 | (30) | (30) | | | | | | | | |
| | 現代社会の原理と政策 II | 2 | (30) | (30) | | | | | | | | |
| | ソーシャルワーク入門 | ① | (30) | (30) | | | | | | | | |
| | 医学・医療概論 | 1 | (15) | (15) | | | | | | | | |
| | 医療・生命倫理 | 1 | (15) | (15) | | | | | | | | |
| 専門科目 社会福祉系科目 | 医学概論 | 2 | (30) | (30) | | | | | | | | |
| | 社会福祉調査の基礎 | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | |
| | ソーシャルワークの理論と方法 I | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | |
| | ソーシャルワークの理論と方法 II | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | |
| | ソーシャルワークの理論と方法 (社会専門) I | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | |
| | ソーシャルワークの理論と方法 (社会専門) II | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | |
| | ソーシャルワークの基盤と専門職 | 2 | (30) | (30) | | | | | | | | |
| | ソーシャルワークの基盤と専門職 (社会専門) | 2 | (30) | (30) | | | | | | | | |
| | 地域福祉と包括的支援体制 I | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | |
| | 地域福祉と包括的 | 2 | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |

| | | | | | | | | | | | | |
|---------|---------------------|---|------|------|------|------|------|------|--|--|--|--|
| | 支援体制Ⅱ | | | | | | | | | | | |
| | 福祉サービスの組織と経営 | 2 | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | 社会保障Ⅰ | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | |
| | 社会保障Ⅱ | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | |
| | 高齢者福祉Ⅰ | 2 | (30) | (30) | | | | | | | | |
| | 高齢者福祉Ⅱ | 2 | (30) | (30) | | | | | | | | |
| | 障害者福祉 | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | |
| | 障がいの理解 | 2 | (30) | (30) | | | | | | | | |
| | 児童・家庭福祉 | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | | | |
| | 貧困に対する支援 | 2 | | | | | (30) | (30) | | | | |
| | 保健医療と福祉 | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | |
| | 就労支援サービス | 1 | | | | | (15) | (15) | | | | |
| | 権利擁護を支える法制度 | 2 | | | | | (30) | (30) | | | | |
| | 刑事司法と福祉 | 2 | | | | | (30) | (30) | | | | |
| | ソーシャルワーク演習 | 1 | | | (30) | (30) | (30) | | | | | |
| | ソーシャルワーク演習（社会専門）Ⅰ | 2 | | | | | (60) | (60) | | | | |
| | ソーシャルワーク演習（社会専門）Ⅱ | 2 | | | | | (60) | (60) | | | | |
| | ソーシャルワーク実習指導（社会専門）Ⅰ | 1 | | | (30) | (30) | (30) | | | | | |
| | ソーシャルワーク実習指導（社会専門）Ⅱ | 1 | | | | | (30) | (30) | | | | |
| | ソーシャルワーク実習指導（社会専門）Ⅲ | 1 | | | | | (30) | (30) | | | | |
| | ソーシャルワーク実習（社会専門）Ⅰ | 2 | | | (60) | (60) | (60) | | | | | |
| | ソーシャルワーク実習（社会専門）Ⅱ | 4 | | | | | 180 | | | | | |
| 精神保健福祉系 | 精神医学と精神医療Ⅰ | 2 | | | | | (30) | (30) | | | | |
| | 精神医学と精神医療Ⅱ | 2 | | | | | (30) | (30) | | | | |
| | 現代の精神保健の課題と支援Ⅰ | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | |
| | 現代の精神保健の | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|-------------|-------------|---|------|------|------|------|------|------|-------|-------|--|
| | 子ども家庭支援の心理学 | 2 | (30) | (30) | | | | | | | |
| | 子どもの保健 | 2 | | | (30) | (30) | | | | | |
| | 子ども家庭支援論 | 2 | | | (30) | (30) | | | | | |
| | 児童文学 | 2 | | | (30) | (30) | | | | | |
| 関連科目 | 国際福祉論 | 2 | | | (30) | (30) | | | | | |
| | 国際医療福祉演習 | 1 | (30) | (30) | | | | | | | |
| | 社会福祉法概論 | 2 | | | (30) | (30) | | | | | |
| | 音楽療法概論 | 2 | | | (30) | (30) | | | | | |
| | 生涯発達心理学 | 2 | | | (30) | (30) | | | | | |
| | 障害者心理学 | 2 | (30) | (30) | | | | | | | |
| | 社会学と社会システム | 2 | (30) | (30) | | | | | | | |
| | 社会福祉総論Ⅰ | 2 | | | | | | | (30) | (30) | |
| | 社会福祉総論Ⅱ | 2 | | | | | | | (30) | (30) | |
| | 総合福祉論 | 4 | | | | | | | (120) | (120) | |
| | ウェルネスビジネス論Ⅰ | 2 | | | (30) | (30) | | | | | |
| ウェルネスビジネス論Ⅱ | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | |
| 専門演習 | 専門演習ⅠA | ① | | | (30) | (30) | | | | | |
| | 専門演習ⅠB | ① | | | (30) | (30) | | | | | |
| | 専門演習ⅡA | ② | | | | | (60) | (60) | | | |
| | 専門演習ⅡB | ② | | | | | (60) | (60) | | | |
| | 卒業研究Ⅰ | ② | | | | | | | (60) | (60) | |
| | 卒業研究Ⅱ | ② | | | | | | | (60) | (60) | |

②介護福祉学専攻

注1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目

2 単位数を□で囲んだ授業科目は選択必修科目

3 時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

| 科目区分 | 授業科目 | 単位数 | 配当年次・学期・時間数 | | | | | | | | 備考 | |
|--------|-----------------|-----|-------------|------|------|------|-----|----|-----|----|----|--|
| | | | 1年次 | | 2年次 | | 3年次 | | 4年次 | | | |
| | | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | | |
| 専門基礎科目 | 社会福祉の原理と政策Ⅰ | 2 | (30) | (30) | | | | | | | | |
| | 社会福祉の原理と政策Ⅱ | 2 | (30) | (30) | | | | | | | | |
| | ソーシャルワーク入門 | ① | (30) | (30) | | | | | | | | |
| | 医学・医療概論 | 1 | (15) | (15) | | | | | | | | |
| | 医療・生命倫理 | 1 | (15) | (15) | | | | | | | | |
| 専門科目 | 医学概論 | ② | (30) | (30) | | | | | | | | |
| | 社会福祉調査の基礎 | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | |
| | ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ | ② | | | (30) | (30) | | | | | | |
| | ソーシャルワーク | ② | | | (30) | (30) | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | |
|---|-------------------------------|---|------|------|------|------|------|------|--|--|--|--|--|
| 目 | の理論と方法Ⅱ | | | | | | | | | | | | |
| | ソーシャルワーク の理論と方法（社 会専門）Ⅰ | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | | |
| | ソーシャルワーク の理論と方法（社 会専門）Ⅱ | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | | |
| | ソーシャルワーク の基盤と専門職 | 2 | (30) | (30) | | | | | | | | | |
| | ソーシャルワーク の基盤と専門職 （社会専門） | 2 | (30) | (30) | | | | | | | | | |
| | 地域福祉と包括的 支援体制Ⅰ | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | | |
| | 地域福祉と包括的 支援体制Ⅱ | 2 | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | | |
| | 福祉サービスの組 織と経営 | 2 | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | | |
| | 社会保障Ⅰ | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | | |
| | 社会保障Ⅱ | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | | |
| | 高齢者福祉Ⅰ | 2 | (30) | (30) | | | | | | | | | |
| | 高齢者福祉Ⅱ | 2 | (30) | (30) | | | | | | | | | |
| | 障害者福祉 | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | | |
| | 障がいの理解 | 2 | (30) | (30) | | | | | | | | | |
| | 児童・家庭福祉 | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | | | | |
| | 貧困に対する支援 | 2 | | | | | (30) | (30) | | | | | |
| | 保健医療と福祉 | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | | |
| | 就労支援サービス | 1 | | | | | (15) | (15) | | | | | |
| | 権利擁護を支える 法制度 | 2 | | | | | (30) | (30) | | | | | |
| | 刑事司法と福祉 | 2 | | | | | (30) | (30) | | | | | |
| | ソーシャルワーク 演習 | 1 | | | (30) | (30) | (30) | | | | | | |
| | ソーシャルワーク 演習（社会専門） Ⅰ | 2 | | | | | (60) | (60) | | | | | |
| | ソーシャルワーク 演習（社会専門） Ⅱ | 2 | | | | | (60) | (60) | | | | | |
| | ソーシャルワーク 実習指導（社会専 門）Ⅰ | 1 | | | (30) | (30) | (30) | | | | | | |
| | ソーシャルワーク 実習指導（社会専 門）Ⅱ | 1 | | | | | (30) | (30) | | | | | |
| | ソーシャルワーク 実習指導（社会専 | 2 | | | | | (30) | (30) | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------------|-----------------------------|---|------|------|------|------|------|------|--|--|--|--|--|
| | 門) III | | | | | | | | | | | | |
| | ソーシャルワーク 実習 (社会専門) I | 2 | | | | (60) | (60) | (60) | | | | | |
| | ソーシャルワーク 実習 (社会専門) II | 4 | | | | | | 180 | | | | | |
| 精神 保健 福祉 系 科目 | 精神医学と精神医 療 I | 2 | | | | | (30) | (30) | | | | | |
| | 精神医学と精神医 療 II | 2 | | | | | (30) | (30) | | | | | |
| | 現代の精神保健の 課題と支援 I | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | | |
| | 現代の精神保健の 課題と支援 II | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | | |
| | 精神障害リハビリ テーション論 | 2 | | | | | (30) | (30) | | | | | |
| | 精神保健福祉制度 論 | 2 | | | | | (30) | (30) | | | | | |
| 介 護 福 祉 系 科 目 | 介護の基本 I A | 2 | (30) | (30) | | | | | | | | | |
| | 介護の基本 I B | 2 | (30) | (30) | | | | | | | | | |
| | 介護の基本 II | 2 | | | | | (30) | (30) | | | | | |
| | リハビリテーショ ン論 | 2 | | | | | (30) | (30) | | | | | |
| | レクリエーション 活動援助法 | 1 | (30) | (30) | | | | | | | | | |
| | 介護マネジメント 論 | 2 | | | | | (30) | (30) | | | | | |
| | コミュニケーション 技術 I | 1 | | | (30) | (30) | | | | | | | |
| | コミュニケーション 技術 II | 1 | | | | | (30) | (30) | | | | | |
| | 家政学概論 I | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | | |
| | 家政学概論 II | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | | |
| | 家政学演習 I (栄 養) | 1 | | | (30) | (30) | | | | | | | |
| | 家政学演習 II (被 服) | 1 | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | | |
| | 生活支援技術 I | 2 | (60) | (60) | | | | | | | | | |
| | 生活支援技術 II | 2 | (60) | (60) | | | | | | | | | |
| | 生活支援技術 III | 1 | | | (30) | (30) | | | | | | | |
| | 生活支援技術 IV | 1 | | | | | (30) | (30) | | | | | |
| | 介護過程 I | 2 | (30) | (30) | | | | | | | | | |
| | 介護過程 II A | 1 | | | (30) | (30) | | | | | | | |
| 介護過程 II B | 1 | | | (30) | (30) | | | | | | | | |
| 介護過程 III A | 1 | | | | | (30) | (30) | | | | | | |
| 介護過程 III B | 1 | | | | | (30) | (30) | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|--------|-------------|--------|------|------|------|------|------|-------|-------|------|--|
| | 介護総合演習Ⅰ | 1 | (40) | (40) | | | | | | | |
| | 介護総合演習Ⅱ | 1 | | | (40) | (40) | | | | | |
| | 介護総合演習Ⅲ | 1 | | | | | (40) | (40) | | | |
| | 介護実習Ⅰ | 2 | 90 | | | | | | | | |
| | 介護実習Ⅱ | 4 | | | 180 | | | | | | |
| | 介護実習Ⅲ | 4 | | | | | 180 | | | | |
| | 発達と老化の理解 | 2 | | | (30) | (30) | | | | | |
| | 認知症の理解 | 2 | | | | | (30) | (30) | | | |
| | 認知症のケア | 2 | | | | | (30) | (30) | | | |
| | 心と体の仕組み | 2 | (30) | (30) | | | | | | | |
| | 介護予防と終末期のケア | 2 | | | | | (30) | (30) | (30) | | |
| | 医療的ケアⅠ | 2 | | | | | (30) | (30) | | | |
| | 医療的ケアⅡ | 2 | | | | | (30) | (30) | | | |
| | 医療的ケアⅢ | 1 | | | | | (30) | (30) | | | |
| 保育系科目 | 保育原理 | 2 | (30) | (30) | | | | | | | |
| | 教育原理 | 2 | (30) | (30) | | | | | | | |
| | 社会的養護Ⅰ | 2 | | | | | (30) | (30) | | | |
| | 保育者論 | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | | |
| | 保育の心理学 | 2 | (30) | (30) | | | | | | | |
| | 子ども家庭支援の心理学 | 2 | (30) | (30) | | | | | | | |
| | 子どもの保健 | 2 | | | (30) | (30) | | | | | |
| | 子ども家庭支援論 | 2 | | | (30) | (30) | | | | | |
| | 児童文学 | 2 | | | (30) | (30) | | | | | |
| 関連科目 | 国際福祉論 | 2 | | | (30) | (30) | | | | | |
| | 国際医療福祉演習 | 1 | (30) | (30) | | | | | | | |
| | 社会福祉法概論 | 2 | | | (30) | (30) | | | | | |
| | 音楽療法概論 | 2 | | | (30) | (30) | | | | | |
| | 生涯発達心理学 | 2 | | | (30) | (30) | | | | | |
| | 障害者心理学 | 2 | (30) | (30) | | | | | | | |
| | 社会学と社会システム | 2 | (30) | (30) | | | | | | | |
| | 社会福祉総論Ⅰ | 2 | | | | | | (30) | (30) | | |
| | 社会福祉総論Ⅱ | 2 | | | | | | (30) | (30) | | |
| | 総合福祉論 | 4 | | | | | | (120) | (120) | | |
| | ウェルネスビジネス論Ⅰ | 2 | | | (30) | (30) | | | | | |
| | ウェルネスビジネス論Ⅱ | 2 | | | (30) | (30) | | | | | |
| | 専門演習 | 専門演習ⅠA | ① | | | (30) | (30) | | | | |
| 専門演習ⅠB | | ① | | | (30) | (30) | | | | | |
| 専門演習ⅡA | | ② | | | | | (60) | (60) | | | |
| 専門演習ⅡB | | ② | | | | | (60) | (60) | | | |
| 卒業研究Ⅰ | | ② | | | | | | | (60) | (60) | |
| 卒業研究Ⅱ | | ② | | | | | | | (60) | (60) | |

③保育福祉学専攻

- 注1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目
 2 単位数を□で囲んだ授業科目は選択必修科目
 3 時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

| 科目区分 | 授業科目 | 単位数 | 配当年次・学期・時間数 | | | | | | | | 備考 | |
|-----------------|-----------------------|-----|-------------|------|------|------|------|------|-----|----|----|--|
| | | | 1年次 | | 2年次 | | 3年次 | | 4年次 | | | |
| | | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | | |
| 専門基礎科目 | 社会福祉の原理と政策Ⅰ | 2 | (30) | (30) | | | | | | | | |
| | 社会福祉の原理と政策Ⅱ | 2 | (30) | (30) | | | | | | | | |
| | ソーシャルワーク入門 | ① | (30) | (30) | | | | | | | | |
| | 医学・医療概論 | 1 | (15) | (15) | | | | | | | | |
| | 医療・生命倫理 | 1 | (15) | (15) | | | | | | | | |
| 専門科目 社会福祉系科目 | 医学概論 | 2 | (30) | (30) | | | | | | | | |
| | 社会福祉調査の基礎 | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | |
| | ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | |
| | ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | |
| | ソーシャルワークの理論と方法（社会専門）Ⅰ | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | |
| | ソーシャルワークの理論と方法（社会専門）Ⅱ | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | |
| | ソーシャルワークの基盤と専門職 | 2 | (30) | (30) | | | | | | | | |
| | ソーシャルワークの基盤と専門職（社会専門） | 2 | (30) | (30) | | | | | | | | |
| | 地域福祉と包括的支援体制Ⅰ | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | |
| | 地域福祉と包括的支援体制Ⅱ | 2 | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | 福祉サービスの組織と経営 | 2 | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | |
| | 社会保障Ⅰ | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | |
| | 社会保障Ⅱ | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | |
| | 高齢者福祉Ⅰ | 2 | (30) | (30) | | | | | | | | |
| | 高齢者福祉Ⅱ | 2 | (30) | (30) | | | | | | | | |
| | 障害者福祉 | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | |
| | 障がいの理解 | 2 | (30) | (30) | | | | | | | | |
| | 児童・家庭福祉 | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | | | |
| | 貧困に対する支援 | 2 | | | | | (30) | (30) | | | | |
| | 保健医療と福祉 | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|---|-------------------------------|---|------|------|------|------|------|------|--|--|--|
| | 就労支援サービス | 1 | | | | | (15) | (15) | | | |
| | 権利擁護を支える 法制度 | 2 | | | | | (30) | (30) | | | |
| | 刑事司法と福祉 | 2 | | | | | (30) | (30) | | | |
| | ソーシャルワーク 演習 | 1 | | | | (30) | (30) | (30) | | | |
| | ソーシャルワーク 演習（社会専門） I | 2 | | | | | (60) | (60) | | | |
| | ソーシャルワーク 演習（社会専門） II | 2 | | | | | (60) | (60) | | | |
| | ソーシャルワーク 実習指導（社会専 門）I | 1 | | | | (30) | (30) | (30) | | | |
| | ソーシャルワーク 実習指導（社会専 門）II | 1 | | | | | (30) | (30) | | | |
| | ソーシャルワーク 実習指導（社会専 門）III | 1 | | | | | (30) | (30) | | | |
| | ソーシャルワーク 実習（社会専門） I | 2 | | | | (60) | (60) | (60) | | | |
| | ソーシャルワーク 実習（社会専門） II | 4 | | | | | 180 | | | | |
| 精 神 保 健 福 祉 系 科 目 | 精神医学と精神医 療I | 2 | | | | | (30) | (30) | | | |
| | 精神医学と精神医 療II | 2 | | | | | (30) | (30) | | | |
| | 現代の精神保健の 課題と支援I | 2 | | | (30) | (30) | | | | | |
| | 現代の精神保健の 課題と支援II | 2 | | | (30) | (30) | | | | | |
| | 精神障害リハビリ テーション論 | 2 | | | | | (30) | (30) | | | |
| 精神保健福祉制度 論 | 2 | | | | | (30) | (30) | | | | |
| 介 護 福 祉 系 科 目 | 発達と老化の理解 | 2 | | | (30) | (30) | | | | | |
| | 認知症の理解 | 2 | | | | | (30) | (30) | | | |
| | 認知症のケア | 2 | | | | | (30) | (30) | | | |
| | 心と体の仕組み | 2 | (30) | (30) | | | | | | | |
| 保 | 保育原理 | 2 | (30) | (30) | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------------------|------------------|---|------|------|------|------|------|------|--|--|--|--|--|
| 育 系 科 目 | 教育原理 | 2 | (30) | (30) | | | | | | | | | |
| | 子育て支援 | 1 | | | | | (15) | (15) | | | | | |
| | 社会的養護 I | 2 | | | | | (30) | (30) | | | | | |
| | 保育者論 | 2 | (30) | (30) | (30) | (30) | | | | | | | |
| | 保育の心理学 | 2 | (30) | (30) | | | | | | | | | |
| | 子ども家庭支援の心理学 | 2 | (30) | (30) | | | | | | | | | |
| | 子どもの理解と援助 | 1 | (15) | (15) | | | | | | | | | |
| | 子どもの保健 | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | | |
| | 子どもの健康と安全 | 1 | | | (15) | (15) | | | | | | | |
| | 子どもの食と栄養 | 2 | (30) | (30) | | | | | | | | | |
| | 子ども家庭支援論 | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | | |
| | 保育の計画と評価 | 2 | (30) | (30) | | | | | | | | | |
| | 保育内容総論 | 1 | (15) | (15) | | | | | | | | | |
| | 保育内容演習 I (健康) | 1 | (15) | (15) | | | | | | | | | |
| | 保育内容演習 II (人間関係) | 1 | | | (15) | (15) | | | | | | | |
| | 保育内容演習 III (環境) | 1 | | | (15) | (15) | | | | | | | |
| | 保育内容演習 IV (言葉) | 1 | (15) | (15) | | | | | | | | | |
| | 保育内容演習 V (表現) | 1 | (15) | (15) | | | | | | | | | |
| | 児童文学 | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | | |
| | 乳児保育 I | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | | |
| | 乳児保育 II | 1 | | | (15) | (15) | | | | | | | |
| | 障がい児保育 | 2 | | | | | (30) | (30) | | | | | |
| | 社会的養護 II | 1 | | | | | (15) | (15) | | | | | |
| | 保育内容の理解と方法 I | 2 | (30) | (30) | | | | | | | | | |
| | 保育内容の理解と方法 II | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | | |
| | 保育内容の理解と方法 III | 1 | (15) | (15) | | | | | | | | | |
| | 母子保健 | 1 | | | | | (15) | (15) | | | | | |
| | 病児保育 | 1 | | | | | (15) | (15) | | | | | |
| | 保育実習概論 | 1 | | | (15) | (15) | | | | | | | |
| | 保育実習指導 I—1(保育所) | 1 | | | (15) | (15) | | | | | | | |
| 保育実習指導 I—2(施設) | 1 | | | | | (15) | (15) | | | | | | |
| 保育実習 I—1(保育所) | 2 | | | 90 | | | | | | | | | |
| 保育実習 I—2(施 | 2 | | | | | 90 | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | |
|------------------|-------------|---|------|------|------|------|------|------|------|-------|-------|--|--|
| | 設) | | | | | | | | | | | | |
| | 保育実践演習 | 2 | | | | | (30) | (30) | (30) | (30) | | | |
| | 保育実習指導Ⅱ | 1 | | | | | (15) | (15) | | | | | |
| | 保育実習Ⅱ | 2 | | | | | 90 | | | | | | |
| | 保育実習指導Ⅲ | 1 | | | | | (15) | (15) | | | | | |
| | 保育実習Ⅲ | 2 | | | | | 90 | | | | | | |
| 関 連 科 目 | 国際福祉論 | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | | |
| | 国際医療福祉演習 | 1 | (30) | (30) | | | | | | | | | |
| | 社会福祉法概論 | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | | |
| | 音楽療法概論 | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | | |
| | 生涯発達心理学 | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | | |
| | 障害者心理学 | 2 | (30) | (30) | | | | | | | | | |
| | 社会学と社会システム | 2 | (30) | (30) | | | | | | | | | |
| | 社会福祉総論Ⅰ | 2 | | | | | | | | (30) | (30) | | |
| | 社会福祉総論Ⅱ | 2 | | | | | | | | (30) | (30) | | |
| | 総合福祉論 | 4 | | | | | | | | (120) | (120) | | |
| | ウェルネスビジネス論Ⅰ | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | | |
| | ウェルネスビジネス論Ⅱ | 2 | | | (30) | (30) | | | | | | | |
| 専 門 演 習 | 専門演習ⅠA | ① | | | (30) | (30) | | | | | | | |
| | 専門演習ⅠB | ① | | | (30) | (30) | | | | | | | |
| | 専門演習ⅡA | ② | | | | | (60) | (60) | | | | | |
| | 専門演習ⅡB | ② | | | | | (60) | (60) | | | | | |
| | 卒業研究Ⅰ | ② | | | | | | | (60) | (60) | | | |
| | 卒業研究Ⅱ | ② | | | | | | | (60) | (60) | | | |

別表第2

先修科目

[心理学科]

Ⅰ A欄に掲げる授業科目を履修するためには、卒業に必要な単位数の内からB欄に掲げる授業科目を含む70単位以上を修得していなければならない。

| A欄 | B欄 |
|-------------------------|-----------------------|
| 心理学実践実習(産業・社会) (3年次) | コミュニケーション演習 ビジネス演習 |

Ⅱ A欄に掲げる授業科目を履修するためには、B欄に掲げる授業科目の単位を前もって修得していなければならない。

| A欄 | B欄 |
|-----------------|------------|
| 専門演習Ⅱ(3年次) | 専門演習Ⅰ |
| 卒業研究Ⅱ(4年次) | 卒業研究Ⅰ |
| 心理演習Ⅱ(2年次) | 心理演習Ⅰ |
| 精神疾患とその治療Ⅱ(2年次) | 精神疾患とその治療Ⅰ |

[医療栄養学科]

Ⅰ A欄に掲げる授業科目を履修するためには、B欄に掲げる授業科目(先修科目)の単位を、2年次終了時までには修得していなければならない。

| A欄 | B欄 |
|--------------|----------------------|
| 臨地実習Ⅰ(給食の運営) | 調理学、調理学実習、食品衛生学、献立作成 |

| | |
|-------|---|
| (3年次) | 実習、応用栄養学Ⅰ、応用栄養学Ⅱ、応用栄養学Ⅲ、給食経営管理総論、給食経営管理各論、給食経営管理実習Ⅰ |
|-------|---|

Ⅱ A欄に掲げる授業科目を履修するためには、上記ⅠのA欄および以下に掲げるB欄の授業科目(先修科目)の単位を、3年次終了時までには修得していなければならない。

| A欄 | B欄 | |
|-----------------------------|-------------------------------|---|
| 臨地実習Ⅱ (給食経営管理論) (4年次) | 栄養教育論Ⅰ 栄養教育論Ⅱ 給食経営管理実習Ⅱ | 病態学Ⅰ 病態学Ⅱ 臨床栄養学総論 臨床栄養学各論Ⅰ 臨床栄養学各論Ⅱ 臨床栄養学各論Ⅲ 臨床栄養学実習Ⅰ 臨床栄養学実習Ⅱ |
| 臨地実習Ⅲ (臨床栄養学) (4年次) | | |
| 臨地実習Ⅳ (臨床栄養学) (4年次) | | |
| 臨地実習Ⅴ (公衆栄養学) (4年次) | | 公衆衛生学Ⅲ 公衆栄養学Ⅰ 公衆栄養学Ⅱ 公衆栄養学実習 |

[医療経営学科]

A欄に掲げる授業科目を履修するためには、B欄に掲げる授業科目(先修科目)の単位を前もって修得していなければならない。

| A欄 | B欄 |
|--|--|
| 医師事務作業論(2年次) 医師事務作業演習(2年次) | 診療報酬制度論 診療報酬請求演習Ⅰ 診療報酬請求演習Ⅱ |
| 診療情報管理演習Ⅰ(3年次) 診療情報管理演習Ⅱ(3年次) 診療情報管理演習Ⅲ(3年次) | 医療制度論 病院管理学 医学・医療概論 医学用語概論 人体構造機能学 臨床医学Ⅰ 臨床医学Ⅱ 臨床医学Ⅲ 臨床医学Ⅳ 公衆衛生学 疾病分類学Ⅰ 疾病分類学Ⅱ 疾病分類学演習 医療統計学 医療情報学Ⅰ 診療情報管理論 |
| 医療情報学Ⅱ(3年次) | 医療情報学Ⅰ |
| 医療施設管理実習(3年次) | 医療施設管理実習事前演習 |
| 医療情報システム演習(4年次) | 情報システム学Ⅱ 医療情報学Ⅱ |
| 卒業研究Ⅱ(4年次) | 卒業研究Ⅰ |

[注] A欄とB欄の授業科目は、同時に履修することはできない。

[医療福祉学科]

A欄に掲げる授業科目を履修するためには、B欄に掲げる授業科目(先修科目)の単位を前もって修得し、または同時に履修していなければならない。

①医療福祉学専攻

| A欄 | B欄 |
|----------------------------|--|
| ソーシャルワーク実習(社会専門)Ⅰ(2年次) | ソーシャルワーク実習指導(社会専門)Ⅰ |
| ソーシャルワーク実習(社会専門)Ⅱ(3年次) | ソーシャルワーク実習指導(社会専門)Ⅱ |
| ソーシャルワーク実習(精神専門)Ⅱ(3年次・4年次) | ソーシャルワーク実習指導(精神専門)Ⅰ ソーシャルワーク実習指導(精神専門)Ⅱ |

②介護福祉学専攻

| A欄 | B欄 |
|----------------------------|--------------------------------------|
| 介護実習Ⅰ(1年次) | 介護総合演習Ⅰ 介護過程Ⅰ |
| 介護実習Ⅱ(2年次) | 介護総合演習Ⅱ 介護過程ⅡA 介護過程ⅡB 介護実習Ⅰ |
| 介護実習Ⅲ(3年次) | 介護総合演習Ⅲ 介護過程ⅢA 介護過程ⅢB 介護実習Ⅱ |
| 医療的ケアⅡ(3年次) 医療的ケアⅢ(3年次) | 医療的ケアⅠ 医療的ケアⅡ |

③保育福祉学専攻

| A欄 | B欄 |
|-------------------|--|
| 保育実習Ⅰー1(保育所)(2年次) | 保育原理(同時履修不可) 保育内容総論(同時履修不可) 保育内容演習Ⅰ(健康)(同時履修不可) 保育内容演習Ⅳ(言葉)(同時履修不可) 保育実習指導Ⅰー1(保育所) |
| 保育実習Ⅰー2(施設)(3年次) | 保育実習指導Ⅰー2(施設)(同時履修不可) 子どもの保健(同時履修不可) 児童・家庭福祉(同時履修不可) |
| 保育実習Ⅱ(3年次) | 保育実習指導Ⅱ 子どもの保健(同時履修不可) 児童・家庭福祉(同時履修不可) |
| 保育実習Ⅲ(3年次) | 保育実習指導Ⅲ 子どもの保健(同時履修不可) 児童・家庭福祉(同時履修不可) |

別表第3

教育職員免許状取得のために必要な科目

イ 医療栄養学科

1 栄養に係る教育に関する科目

| 教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数 | | 左記科目に対する本大学での科目等 | | | |
|-------------------------|---------|------------------|-----|-----|-----|
| 科目 | 最低修得単位数 | 授業科目 | 単位数 | 履修年 | 時間数 |
| | | | | | |

| | | | | | | |
|---------------|---|-----------|-----------|---|------|------|
| | | | | 次 | 前期 | 後期 |
| 栄養に係る教育に関する科目 | 4 | 学校栄養教育論Ⅰ | ② | 3 | (30) | (30) |
| | | 学校栄養教育論Ⅱ | ② | 3 | (30) | (30) |
| 最低修得単位数合計 | 4 | 最低修得単位数合計 | 栄教一種免 4単位 | | | |

注

- 1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目
- 2 時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

2 教育の基礎的理解に関する科目

| 教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数 | | | 左記科目に対する本大学での科目等 | | | | |
|-------------------------------------|--|---------|------------------|-----|------|------|------|
| 科目 | 各科目に含めることが必要な事項 | 最低修得単位数 | 授業科目 | 単位数 | 履修年次 | 時間数 | |
| | | | | | | 前期 | 後期 |
| 教育の基礎的理解に関する科目 | 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校への対応を含む。) 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。) | 8 | 教育原理 | ① | 1 | (15) | (15) |
| | | | 教職概論 | ② | 1 | (30) | (30) |
| | | | 教育制度論 | ① | 2 | (15) | (15) |
| | | | 学校教育心理学 | ① | 1 | (15) | (15) |
| | | | 特別支援教育論 | ① | 2 | (15) | (15) |
| | | | 教育課程論 | ② | 3 | (30) | (30) |
| 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 | 道徳、総合的な学習の時間及び特別活動に関する内容 教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。) 生徒指導の理論及び方法 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法 | 6 | 道徳・特別活動論 | ② | 3 | (30) | (30) |
| | | | 総合的な学習の時間論 | ① | 3 | (15) | (15) |
| | | | 教育方法論 | ② | 2 | (30) | (30) |
| | | | 生徒指導論 | ① | 2 | (15) | (15) |
| | | | 教育相談 | ① | 3 | (15) | (15) |

| | | | | | | | |
|------------|------------|------------|--------------|------------|---|---|----|
| 教育実践に関する科目 | 栄養教育実習 | 4 | 栄養教育実習Ⅰ | ① | 4 | — | — |
| | | | 栄養教育実習Ⅱ | ① | 4 | — | — |
| | 教職実践演習(栄養) | | 教職実践演習(栄養教諭) | ② | 4 | | 30 |
| 最低修得単位数合計 | | 栄教一種免 18単位 | 最低修得単位数合計 | 栄教一種免 19単位 | | | |

注

- 1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目
- 2 時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。
- 3 その他教育職員免許法施行規則で定める科目

| 教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数 | | 左記科目に対する本大学での科目等 | | | | |
|-------------------------|---------------|------------------|------|------|------|--|
| 科目 | 授業科目 | 単位数 | 履修年次 | 時間数 | | |
| | | | | 前期 | 後期 | |
| 日本国憲法 | 日本国憲法 | ② | 1 | (30) | (30) | |
| 体育 | スポーツ学 | ① | 2 | (15) | (15) | |
| | スポーツ実習Ⅰ | ① | 1 | (30) | (30) | |
| 外国語コミュニケーション | 英語コミュニケーションⅠ | ① | 1 | (30) | (30) | |
| | 英語コミュニケーションⅡ | ① | 1 | (30) | (30) | |
| 情報機器の操作 | デジタルコミュニケーション | ① | 1 | (30) | (30) | |
| | データサイエンスⅠ | ① | 1 | (30) | (30) | |

注1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目

- 2 時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

ロ 医療福祉学科

1 教科及び教科の指導法に関する科目

| 教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数 | | | 左記科目に対する本大学での科目等 | | | | |
|-------------------------|-------------------|---------|--------------------|-----|------|------|------|
| 科目区分 | 各科目に含めることが必要な事項 | 最低修得単位数 | 授業科目 | 単位数 | 履修年次 | 時間数 | |
| | | | | | | 前期 | 後期 |
| 教科及び教科の指導法に関する科目 | 社会福祉学(職業指導を含む。) | 24 | 社会福祉の原理と政策Ⅰ | ② | 1 | (30) | (30) |
| | | | 就労支援サービス | 1 | 3 | (15) | (15) |
| | 社会福祉総論Ⅰ | | 2 | 4 | (30) | (30) | |
| | 高齢者福祉、児童福祉及び障害者福祉 | | 高齢者福祉Ⅰ | ② | 1 | (30) | (30) |
| | | | 高齢者福祉Ⅱ | ② | 1 | (30) | (30) |
| | | | 児童・家庭福祉 | ② | 1・2 | (30) | (30) |
| | | | 障害者福祉 | ② | 2 | (30) | (30) |
| | | | 子ども家庭支援論 | 2 | 2 | (30) | (30) |
| | 社会福祉援助技術 | | ソーシャルワークの基盤と専門職 | ② | 1 | (30) | (30) |
| | | | ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ | 2 | 2 | (30) | (30) |
| | | | ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ | 2 | 2 | (30) | (30) |
| | | | ソーシャルワークの理論と方法(社会専 | 2 | 2 | (30) | (30) |

| | | | | | | |
|-----------|--|--------------------------|--------------|-----|------|------|
| | | 門) I | | | | |
| | | ソーシャルワークの理論と方法 (社会専門) II | 2 | 2 | (30) | (30) |
| | 介護理論及び介護技術 | 介護概論(介護技術を含む) | ② | 2・3 | (30) | (30) |
| | 社会福祉総合実習 (社会福祉援助実習及び社会福祉施設等における介護実習を含む。) | 介護の基本 I A | 2 | 1 | (30) | (30) |
| | 人体構造に関する理解・日常生活行動に関する理解 | 社会福祉総合実習 | ② | 3・4 | (90) | (90) |
| | 加齢に関する理解及び障害に関する理解 | 医学概論 | ② | 1 | (30) | (30) |
| | 各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。) | 発達と老化の理解 | ② | 2 | (30) | (30) |
| | | 障がいの理解 | ② | 1 | (30) | (30) |
| | | 福祉科教育法 I | ② | 2・3 | (30) | (30) |
| | | 福祉科教育法 II | ② | 2・3 | (30) | (30) |
| 最低修得単位数合計 | 高一種免(福祉)24単位 | 最低修得単位数合計 | 高一種免(福祉)26単位 | | | |

注

- 1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目
- 2 時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

2 大学が独自に設定する科目

| 教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数 | | 左記に対する本大学での科目等 | | | | |
|-------------------------|--------------|----------------|----------------|------|------|------|
| 科目区分 | 最低修得単位数 | 授業科目 | 単位数 | 履修年次 | 時間数 | |
| | | | | | 前期 | 後期 |
| 大学が独自に設定する科目 | 12 | ソーシャルワーク入門 | ① | 1 | (30) | (30) |
| | | 社会保障 I | 2 | 2 | (30) | (30) |
| | | 社会保障 II | 2 | 2 | (30) | (30) |
| | | 生活支援技術 I | 2 | 1 | (60) | (60) |
| | | 社会的養護 I | 2 | 3 | (30) | (30) |
| | | 社会的養護 II | 1 | 3 | (15) | (15) |
| | | 保育原理 | 2 | 1 | (30) | (30) |
| | | 保育実践演習 | 2 | 3・4 | (30) | (30) |
| 最低修得単位数合計 | 高一種免(福祉)12単位 | 最低修得単位数合計 | 高一種免(福祉)12単位 ※ | | | |

注

- 1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目
 - 2 時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。
- ※ 「大学が独自に設定する科目」又は最低修得単位数を越えて修得した「教科及び教科の指導

法に関する科目」を併せて12単位以上修得する。

3 教育の基礎的理解に関する科目

| 教育職員免許法施行規則に定める科目および単位数 | | | 左記科目に対する本大学での科目等 | | | | |
|-------------------------------------|---|-----------|------------------|------|------|------|------|
| 科目 | 各科目に含めることが必要な事項 | 最低修得単位数 | 授業科目 | 単位数 | 履修年次 | 時間数 | |
| | | | | | | 前期 | 後期 |
| 教育の基礎的理解に関する科目 | 教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 | 10 | 教育原論 | ① | 1 | (15) | (15) |
| | 教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。) | | 教職概論 | ② | 1 | (30) | (30) |
| | 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) | | 教育制度論 | ② | 2 | (30) | (30) |
| | 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 | | 学校教育心理学 | ② | 2 | (30) | (30) |
| | 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 | | 特別支援教育論 | ① | 2 | (15) | (15) |
| | 教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。) | | 教育課程論 | ② | 3 | (30) | (30) |
| 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 | 総合的な学習の時間の指導法 | 8 | 総合的な学習の時間の指導法 | ① | 3 | (15) | (15) |
| | 特別活動の指導法 | | 特別活動の指導法 | ② | 3 | (30) | (30) |
| | 教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。) | | 教育方法論 | ② | 2 | (30) | (30) |
| | 生徒指導の理論及び方法 | | 生徒指導論 | ① | 2 | (15) | (15) |
| | 教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。) | | 教育相談 | ① | 3 | (15) | (15) |
| 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法 | 進路指導・キャリア教育論 | ① | 3 | (15) | (15) | | |
| 教育実践に関する科目 | 教育実習 | 3 | 教育実習(高) | ③ | 3・4 | — | — |
| | 教職実践演習 | 2 | 教職実践演習(高) | ② | 4 | | 30 |
| 最低修得単位数合計 | 高一種免(福祉)23単位 | 最低修得単位数合計 | 高一種免(福祉)23単位 | | | | |

注

- 1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目
- 2 時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。

4 その他教育職員免許法施行規則で定める科目

| 科目 | 左記科目に対する本大学での科目等 | | | | |
|--------------|------------------|-----|------|------|------|
| | 授業科目 | 単位数 | 履修年次 | 時間数 | |
| | | | | 前期 | 後期 |
| 日本国憲法 | 日本国憲法 | ② | 1 | (30) | (30) |
| 体育 | スポーツ学 | ① | 1 | (15) | (15) |
| | スポーツ実習 I | ① | 1 | (30) | (30) |
| 外国語コミュニケーション | 英語コミュニケーション I | ① | 1 | 30 | |
| | 英語コミュニケーション II | ① | 1 | | 30 |
| 情報機器の操作 | デジタルコミュニケーション | ① | 1 | 30 | |
| | データサイエンス I | ① | 1 | | 30 |

注1 単位数を○で囲んだ授業科目は必修科目

2 時間数を()で囲んだ授業科目は前期または後期で開講する。